








プログラム名	宮教大もりのたんけんたい	
実施団体	○団体名：宮城教育大学幼児教育研究会 ○代表者名：佐藤 哲也 ○電話：022-214-3512 ○FAX：022-214-3512 ○住所：仙台市青葉区荒巻字青葉 149 宮城教育大学 幼児教育講座 佐藤哲也研究室 OE-Mail：tetsuya@staff.miyakyo-u.ac.jp	
対象者	幼児（3～5歳）	
対象人数	20人まで	
学習場所	宮城教育大学	
学習時間	2～3時間	
実施時期	10月中旬～11月上旬	
準備物品・費用等 (講師謝金を除く)	実施団体側	救急セット、防虫スプレー、カメラ、印刷機、名札、帽子、ビニールシート (雨天時)紙芝居、材料カード、落ち葉、木の実等
	利用者側	軍手、タオル、動きやすい服装、ビニール袋、昼食
事前打ち合わせ	実施の1か月前まで(当日の流れ確認)	
効果的な学習段階	幼児期の環境学習の導入	

学習概要	1. 学習のねらい	
	幼児教育には、「環境」「表現」「健康」「人間関係」「言葉」という5領域が存在する。その5領域を相互関連させることで、子どもの「生きる力」の基礎を育むことをねらいとする。 探索活動では、子どもたちが豊富な自然環境に触れ、自然とのかかわりを深めていく中で、自然に対する興味・関心を育む。	
		
	2. 学習する内容	3. 学習のポイント
(1) たんけんたい始まりの会 ○一日の流れや安全・マナーの確認 ○体操 	・一緒に活動する仲間を確認する。 ・アイスブレイクとして、みんなで楽しく体操する。 ・葉っぱや木の木の、色や形の違いに気付く。 ・同じコースの友達と、探す楽しみ、見つける喜びを共有する。 ・五感を使って自然とかがわる。	
(2) 冒険へ出発 ○3つのコース(難易度別)に分かれ、探索する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">冒険コースⅠ(ほのぼのコース)</div>  	※平坦で穏やかな雰囲気のある原っぱで、のんびりと活動できるコース。	

学習概要	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">冒険コースⅡ(じっくりコース)</div>  	※宮教大のグラウンド内を探索するコース。歩く距離は少し長い。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">冒険コースⅢ(チャレンジコース)</div>  	※山の中を歩くコース。体力のある元気な子ども向け。
	(3) 昼食 ○親や友達との会話を楽しみながら、昼食を摂る。 (4) たんけんたいライセンス授与式 ○たんけんたいライセンスを受け取る。	・和やかな雰囲気の中で、家族や仲間と食事をする楽しさを味わう。 ・活動を振り返り、達成感を味わう。これからも自然に対して、興味・関心をもち、自ら自然とかがわろうとする意欲を持つ。
	4. 学習のまとめ	
普段山道を歩く機会があまりないと思われる幼児にとっては、コースを歩くというだけでも冒険となる。落ち葉や木の実を集めることを楽しみながら、それらに様々な種類や形、色などがあることに気づくようになる。また、落ち葉を踏んで感触を楽しむなど、体の諸感覚を使って自然とかがわるができるようになる。さらに、親子で会話することを楽しんだり、初めて出会った友達とも採集したものを交換したりすることで、人間関係を育むことができる。		
追加・変更できる学習内容	○実施時期の変更 ○探索コースの変更	
事前・事後学習についての助言	事後学習として、この活動によって得た様々なかかわり(自然とのかかわり・自然を通しての人とのかかわり)や、自然への興味・関心をさらに深めていただきたい。	
雨天時の学習内容	雨天時は、探索活動の時間に室内レクリエーションを行う。 ○絵本または紙芝居(季節や自然を感じさせるもの)	